

環境保全型農業直接支払交付金 実施状況について



令和5年8月
農業経営課 環境・植防・肥料農薬取締グループ

環境保全型農業直接支払事業の概要

- 日本型直接支払制度

① 多面的機能支払（農業農村多面的機能支払事業）

農地維持支払

資源向上支払

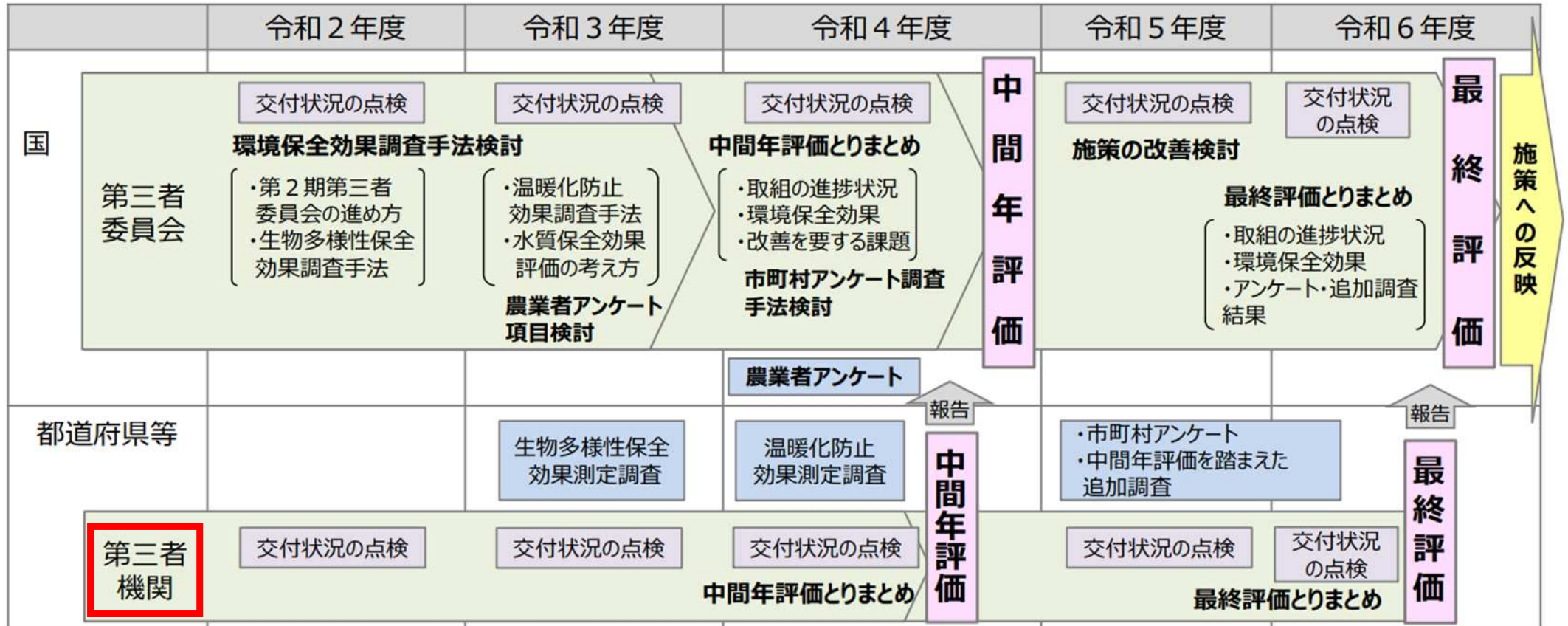
② 中山間地域等直接支払

③ 環境保全型農業直接支払

自然環境の保全に資する農業生産活動の実施に伴う追加的コストを支援

第三者委員会が実施する調査・点検内容について

○ 第2期の交付状況の点検及び効果の評価計画



目次

- 1 制度の概要
- 2 交付状況の点検

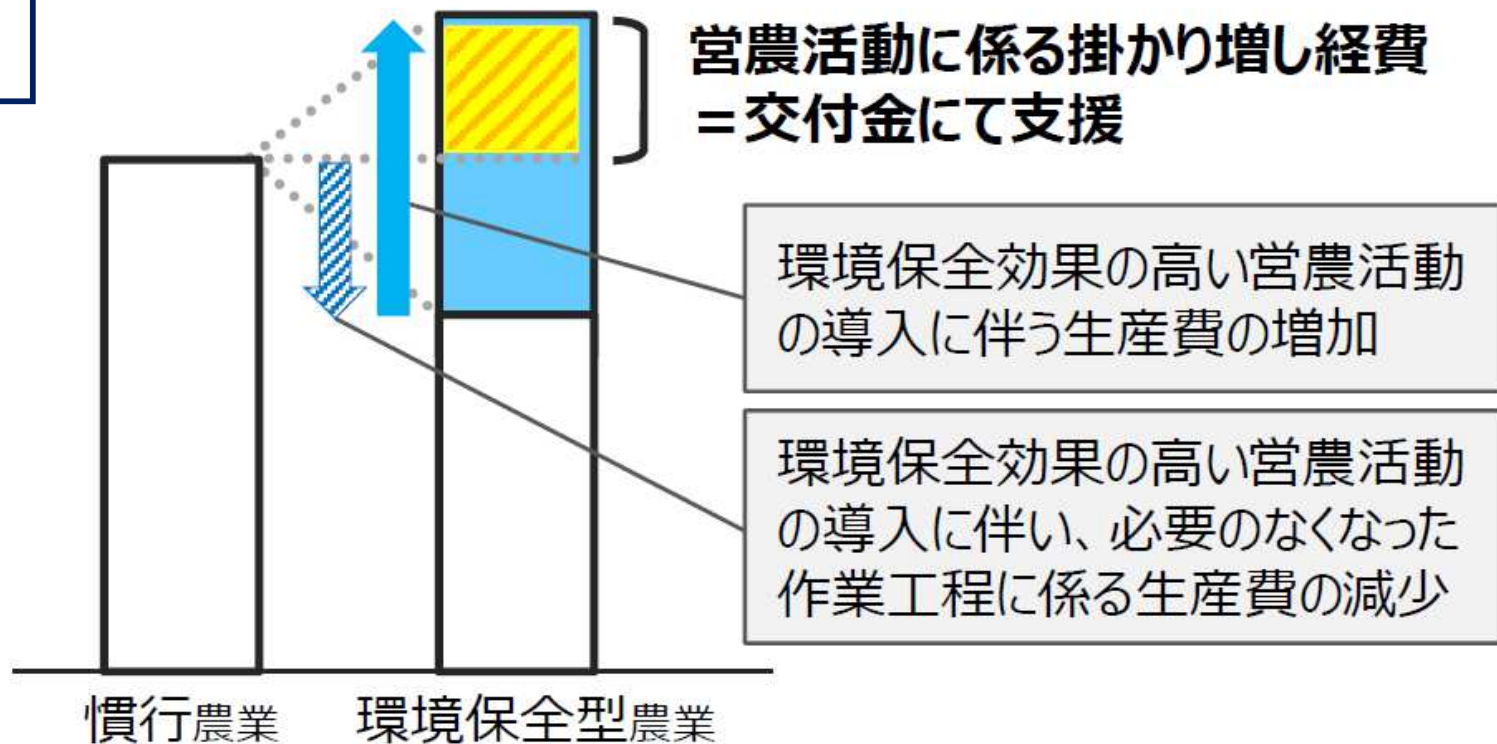
1 環境保全型農業直接支払制度の概要

支援内容

第1期：H27→R1

第2期：R2 →R6

第2期の開始に伴い、
交付単価や取組内容、
対象者の条件等が変更



支援の対象となる取組（第2期）

①堆肥の施用

②カバークロップ

③リビングマルチ

④草生栽培

○取組拡大加算

⑤不耕起播種

⑥長期中干し

⑦秋耕

⑧有機農業

支援対象となる取組の内容

前項①～⑦の取組

又は

⑧国際水準の有機農業

支援対象となる
①～⑦の取組

+

化学肥料

5減・5減の取組

9.0kgN

4.5kgN

化学合成農薬

16回

成分使用回数

8回

慣行レベル

5割低減

法律上の有機農業

- ・化学合成肥料及び農薬の不使用
- ・遺伝子組換え技術禁止
- ・環境への負荷をできる限り低減

+

国際水準の要件

- ・使用禁止資材の飛来防止
- ・作付け前一定期間の使用禁止資材不使用

など

対象となる取組の内容

温・・・地球温暖化防止効果が高い

生・・・生物多様性保全効果が高い

① 堆肥の施用 温



炭素貯留効果の高い堆肥施用
交付単価：4,400円/10a

② カバークロップ 温



栽培期間の前後に緑肥作付け
交付単価：6,000円/10a

③ リビングマルチ 温



作物の畝間に緑肥作付け
交付単価：5,400円/10a

④ 草生栽培 温



果樹・茶園に緑肥作付け
交付単価：5,000円/10a

対象となる取組の内容

⑤ 不耕起播種 温



全面耕起を行わずに播種(小麦等)
交付単価：3,000円/10a



⑥ 長期中干し 温

通常よりも長期の
中干し(水稻)
交付単価：
800円/10a

⑦ 秋耕 温



秋季に耕耘 + 春季に湛水(水稻)
交付単価：800円/10a

⑧ 有機栽培 温 生



国際水準以上の有機農業
交付単価：12,000円/10a

※R 4 新設

有機農業取組拡大加算



(有機農業の新規取組に係る指導等の活動)

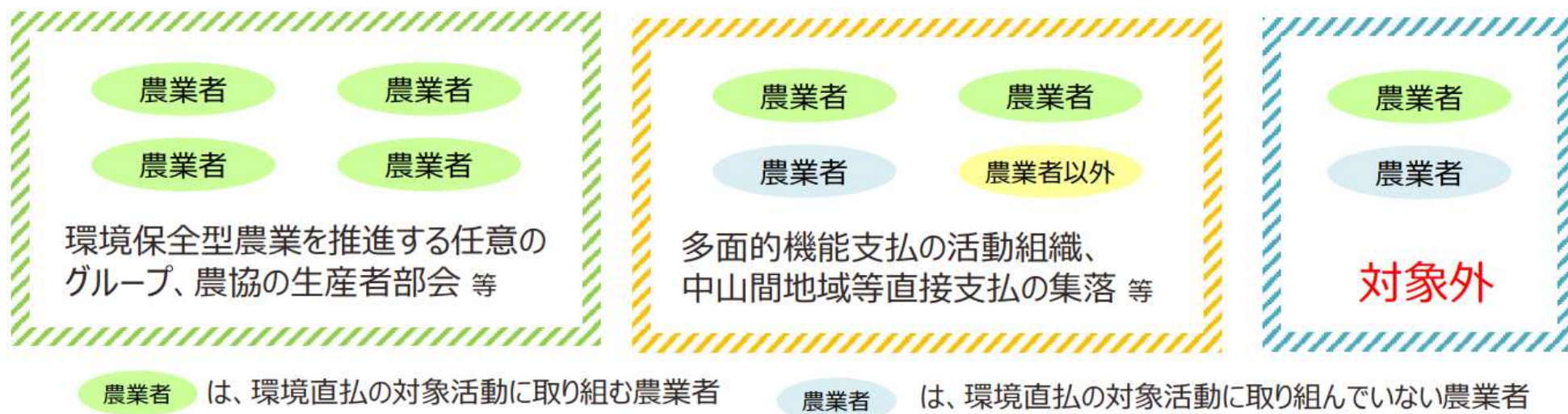
- 本交付金を受給している農業者団体が、新たに有機農業の取組を開始する同一団体内の農業者に対して、指導・助言・相談対応の活動を行う場合
- 活動を行った農業者団体に対して指導等によって増加した
新規取組面積 × 4,000円/10a
が支援される。

対象者

① 農業者の組織する団体

複数の農業者、又は農業者と地域住民等による団体

※ 環境直払に取り組む農業者が団体内に 2名以上必要



② 一定の条件を満たす農業者

- i) 集落の一定割合以上の農地で取組を行う農業者
耕作する集落又は全国平均の概ね1/2、土地利用型作物以外は2割以上
- ii) 複数の農業者で構成されている法人
農業協同組合を除き、複数の農業者で構成されている法人

支援対象農業者等の要件

① 販売することを目的に生産を行っている

② 『みどりのチェックシート』の取組を実施している

①みどりのチェックシートの取組に関する指導・研修を受講

②みどりのチェックシートの取組を実施

③みどりのチェックシートを提出

2 交付状況の点検（R4年度）

【実施件数及び面積】

○ 件数は増えたが、面積の減少により交付額も減少した。

※R5年度の計画では、実施件数・交付額・面積がこれまでで最大になる見込み。

年度	実施件数 (件)	交付額計 (千円)	実施面積 (ha)
R3	45	28,479	456
R4	49	26,645	443

【地域別の実施状況】

地域	取組市町村数		申請件数(件)		実施面積(ha)	
	R3	R4	R3	R4	R3	R4
尾張	4	4	9	10	12	14
海部	1	1	2	2	74	66
知多	7	7	12	16	126	145
西三河	2	2	5	5	94	82
豊田加茂	1	1	8	8	96	77
新城設楽	2	2	4	4	24	24
東三河	3	3	5	4	29	35
合計	20	20	45	49	456	443

【取組別実施面積】

- 秋耕は取組面積が増加
- 堆肥の施用と有機農業は取組面積が減少
- カバークロップについてはほぼ増減なし

単位：ha

年度	堆肥の施用	カバークロップ	リビングマルチ	草生栽培	不耕起播種	長期中干し	秋耕	有機農業
R3	248	78	0	0	0	0	27	103
R4	220	80	0	0	0	0	47	96

【取組別・地域別の実施状況】

単位：ha

	たい肥の施用		カバー クロープ		リビング マルチ		草生栽培		不耕起 播種		長期中 干し		秋耕		有機農業	
	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4
尾張	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	10
海部	70	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	
知多	43	56	62	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	24	
西三河	89	74	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	
豊田加茂	45	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	23	39	27
新城設楽	1	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	19	
東三河	0	1	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	15	25	7	8
合計	248	220	78	80	0	0	0	0	0	0	0	0	27	47	103	96
割合	54%	50%	17%	18%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	11%	23%	22%

【作物別の実施状況】

- 水稲と麦・大豆が取組面積の7割以上であり、堆肥施用の取組が多い
- 野菜・いも類、果樹・茶は有機農業の取組が多い

単位: ha

年度	水稲	麦・大豆	野菜・いも類	果樹・茶	その他	合計
R3	279 (61%)	55 (12%)	59 (13%)	19 (4%)	43 (9%)	456
R4	276 (62%)	53 (12%)	63 (14%)	17 (4%)	35 (8%)	443

【作物別・地域別の実施状況】

単位： ha

	水稲		麦・大豆		野菜・いも類		果樹・茶		その他	
	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4
尾張	8	10	0	0	4	4	0	0	0	0
海部	74	66	0	0	0	0	0	0	0	0
知多	58	67	3	3	41	48	0	0	24	28
西三河	43	33	50	47	1	1	0	0	0	0
豊田加茂	66	61	0	0	1	1	10	8	19	8
新城設楽	8	8	1	1	8	7	7	7	0	0
東三河	22	31	1	1	4	1	2	2	0	0
合計	279	276	55	53	59	63	19	17	43	35
割合	61%	62%	12%	12%	13%	14%	4%	4%	9%	8%